

戦略3 観光・交流戦略

現状・課題

[旅行者ニーズの多様化と旅行スタイルの変化への対応]

コロナ禍で落ち込んだ観光需要の早期回復と共に、旅行者の価値観や趣味・嗜好の多様化に対応した観光コンテンツの開発や、新しい旅行スタイルに対応した受入態勢の整備が求められています。

[観光消費額等の低迷]

繁忙期と閑散期で宿泊者の変動が大きいこと等により、観光・レクリエーション目的の観光消費額は全国下位に低迷し、宿泊業における労働生産性も全国平均を大きく下回っています。

本県の観光消費額と全国順位
(観光・レクリエーション目的)

2018年	2019年	2020年
869億円	559億円	223億円
37位	46位	47位

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

[訪日旅行再開を見据えたインバウンド戦略の見直し]

新型コロナウイルス感染症の拡大により外国人旅行客は激減したものの、世界的な感染症の収束後には、清潔で衛生的なイメージの日本に対する訪問意欲の高まりも想定され、インバウンド戦略の再構築が求められています。

[食品製造業における市場での対応力の不足]

本県の食品製造業（食料品、飲料等）は小規模・零細事業者が多く、販売、商品開発、情報発信の基盤が脆弱であり、価格競争や市場のニーズへの対応力が不足しています。

食料品製造業の製造品出荷額等
(2019年)

(百万円)

東北順位	県名	製造品出荷額等
1位	宮城県	657,946
2位	岩手県	390,229
3位	青森県	378,540
4位	山形県	327,281
5位	福島県	312,767
6位	秋田県	111,846

出典：経済産業省「工業統計調査」

[コロナ禍による消費者ニーズの大きな変化]

健康志向や非接触・非対面型の購買などコロナ禍により生じた消費者ニーズの大きな変化への対応が求められています。

[食についての秋田ならではの情報発信の不足]

「食」や「発酵」をテーマとした誘客が全国で進められ競合が発生している中、秋田の食の優位性や特徴についての情報発信が不足しています。

[高齢化等に伴う文化の担い手の減少]

高齢化や若者の県外流出によって、伝統芸能や文化活動の担い手の確保が困難な状況にあります。

[秋田の文化についての情報発信の不足]

秋田ならではの文化が十分に県民に知られていないほか、観光分野等での活用が進んでいないことから、その魅力を県内外に発信することが求められています。

戦略3の
ねらい

価値観の変化と地方への関心の高まりを好機と捉え、食や文化、スポーツをはじめとする多様な分野と観光との連携・融合により、交流人口の更なる拡大を図ります。

戦略3が目指す“4年後の姿”

目指す姿1 「何度でも訪れたい秋田」の創出 (P72)

時代の流れや価値観等の変化に柔軟に対応し、裾野の広い観光産業の稼ぐ力を引き出すとともに、旅行者が何度でも訪れたい魅力的な秋田の観光の実現を目指します。

“四つの元気”



< 施策の方向性 >

- ① 自立した稼ぐ観光エリアの形成 (P72)
- ② ターゲットの的確な把握と効果的な誘客プロモーションの展開 (P72)
- ③ 時代の変化を捉えた秋田ならではのツーリズムの推進 (P73)
- ④ 旅行者の多様なニーズに応じた受入態勢の整備 (P73)
- ⑤ 戦略的なインバウンド誘客の推進 (P74)

目指す姿2 「美酒・美食の秋田」の創造 (P75)

市場における県内食品製造業の優位性を確保し、収益性を向上させるとともに、秋田の豊かな「食」による誘客と交流の拡大を目指します。

“四つの元気”



< 施策の方向性 >

- ① 消費者ニーズを捉えたオリジナル商品の開発と秋田の「食」のブランド化 (P75)
- ② 食品製造業の振興 (P75)
- ③ 多様な流通チャネルを活用した県産食品の販売の促進 (P76)
- ④ 秋田の「食」の魅力の発信と誘客への活用 (P76)

目指す姿3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生 (P78)

秋田の文化芸術に対する若者等の関心が高まり、次の世代の担い手が確保されることにより、地域の伝統芸能等が維持・継承された魅力的でにぎわいのある地域の実現を目指します。

“四つの元気”



< 施策の方向性 >

- ① あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり (P78)
- ② 文化芸術活動の促進と次代を担う人材の確保・育成 (P78)
- ③ 文化芸術を通じた交流人口・関係人口の拡大 (P79)

目指す姿3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生



施策の方向性① あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり

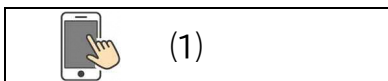


あきた芸術劇場ミルハスにおいて、質の高い文化芸術活動を推進するとともに、秋田ならではの文化資源を県内外に発信することにより、県全体のにぎわいの創出につながります。

【主な取組】

- (1) 伝統芸能、民謡など秋田ならではの文化公演の開催とオンラインを活用した映像の配信への支援
- (2) 県内文化施設等と連携したにぎわい創出イベント等の実施

◀ 選択・集中プロジェクト ▶



施策の方向性② 文化芸術活動の促進と次代を担う人材の確保・育成



地域活性化に向けて文化芸術を活用するとともに、若者が関心を持って文化活動等に参加できる環境の整備を進め、地域の文化の担い手となる人材の確保・育成を図ります。

【主な取組】

- (1) 文化芸術団体が行う地域の活性化の取組への支援
- (2) 若手アーティストの発表機会の確保や文化活動への支援
- (3) 優れた文化活動や作品等に対する顕彰など文化芸術活動に取り組みやすい環境づくり

施策の方向性③ 文化芸術を通じた交流人口・関係人口の拡大

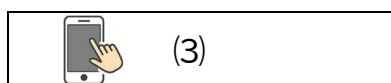


地域の文化資源の魅力向上を図りながら県内外に発信し、交流人口・関係人口の拡大を図ります。

【主な取組】

- (1) 地域に根ざした文化資源を活用した大規模イベント等の開催への支援
- (2) 県内外の若者を対象とした伝統行事等の体験型プログラムの実施や伝統芸能をテーマとしたイベントの開催
- (3) オンライン配信等の手法を取り入れた文化芸術イベントの実施や動画配信サイト等を活用した文化情報の発信
- (4) 伝統行事や民俗芸能等の文化資源の観光への活用など他分野と連携した取組の促進

◀ 選択・集中プロジェクト ▶



成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 文化事業への来場者数	人	450,445	54,435	135,000	270,000	360,000	455,000	県調べ
② あきた芸術劇場で開催される大規模イベント・興行数	件	—	—	42	42	42	42	県調べ

現状・課題（続き）

[不登校児童生徒数の増加]

県内小・中学校における千人当たりの不登校児童生徒数は、全国平均より少ないものの、近年は増加傾向にあります。

小・中学校の不登校児童生徒数（千人当たり）



出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

[特別な支援を必要とする児童生徒の増加]

近年、特別支援学校や小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が増加しており、また、小・中・高校等の通常の学級においても、通級による指導を受けている児童生徒が増加しています。

[運動習慣の二極化傾向]

本県の児童生徒の体力・運動能力は、全国平均に比べて高く、良好な状況にあります。校種が進むにつれ、運動する子どもとそうでない子どもの運動習慣の二極化傾向が見られます。



[高等教育機関に対する期待の高まり]

少子高齢化の進行や若者の県外流出による人口減少が進む中、地域社会や産業が抱える課題の解決に向けた高等教育機関の取組に対する期待が高まっています。

[社会の急激な変化に対応できる人材の需要の高まり]

あらゆる分野で急速に進展するデジタル化や世界的規模の産業構造の変化等に対応できる人材が求められており、高等教育機関における人材育成が期待されています。

[障害者の生涯学習に関する情報提供体制]

障害者の生涯学習の取組は、県内でまだ十分に認知が広がっておらず、学びたいと思っている障害者やその保護者に対し、学びの機会についての情報が適切に提供される体制が整っていません。

[子どもの読書に対する関心度合いの低下]

子どもの読書活動について、小中学生の不読率は改善傾向にあります。一方、高校生の不読率は依然として高い状況にあります。



[文化芸術を体験する機会の不足]

県民が優れた文化芸術に触れる機会や文化芸術活動に参加する機会が、必ずしも十分ではありません。

戦略6が目指す“4年後の姿” (続き)

目指す姿4 豊かな心と健やかな体の育成 (P131)

公共の精神や他者を思いやる気持ち、感謝する心など豊かな心と生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力の育成を目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① 規範意識と自他を尊重する心を育む教育の推進 (P131)
- ② インクルーシブ教育システムの推進 (P131)
- ③ 学校における体育活動の充実と健康教育の推進 (P132)



目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化 (P133)

高等教育機関が、地域ニーズを踏まえた教育・研究や社会貢献活動を通じて、地域社会の課題の解決や持続的な発展に貢献するとともに、輩出した多数の優秀な人材があらゆる分野で活躍することを目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① 多様な資源を活用した教育・研究・社会貢献活動の促進 (P133)
- ② 次代を担う学生の確保と人材育成への支援 (P133)



目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築 (P135)

県民が、ふるさと秋田の魅力を発見し、豊かな感性を育むとともに、ライフステージや生活スタイルに応じて生涯にわたり学び続けられる社会の構築を目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① 多様な学びの場づくり (P135)
- ② 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用 (P135)



目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築



読み聞かせボランティア養成講座



中高生を対象とした読書イベント



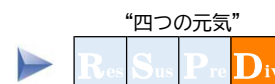
伊勢堂岱遺跡



大湯環状列石



施策の方向性① 多様な学びの場づくり



県民の生涯学習に取り組む機会の確保や読書活動の充実を図るとともに、学びによって得られた成果が地域に還元される仕組みづくりを進めます。

【主な取組】

- (1) 企業や団体等との連携による県民の学習機会の確保
- (2) 学びの成果を地域づくり等へ生かすためのネットワークづくり
- (3) 障害の有無等にかかわらず生涯にわたって学習できる体制構築に向けた支援
- (4) 市町村等における持続可能な学習環境の整備への支援
- (5) 生活に身近な場所で読書に親しめる環境の構築
- (6) 中高生を対象とした読書イベント等による読書の魅力の発信
- (7) 児童生徒の読書活動等の充実に向けた学校図書館の機能強化への支援
- (8) 県民の読書ニーズに対応できる県立図書館のサービス機能の強化

施策の方向性② 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用

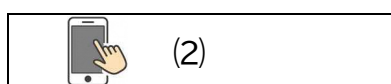


本県の優れた文化芸術を発信するとともに、鑑賞・創作体験機会を提供するほか、地域への誇りや愛着の醸成につながる貴重な財産である文化遺産等の保存・活用を進めます。

【主な取組】

- (1) 美術館、博物館等の展覧会やセカンドスクールの利用等を通じた体験機会の提供
- (2) 美術館、博物館等におけるデジタルコンテンツの活用
- (3) 地域の魅力の発信やにぎわいの創出の拠点としての美術館、博物館等の活用
- (4) 有形文化財や民俗文化財、記念物など文化遺産等の保存・活用
- (5) ユネスコ無形文化遺産や世界文化遺産の価値・魅力の向上に向けた情報発信

◀ 選択・集中プロジェクト ▶



成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者数	人	353,589	169,596	280,000	370,000	375,000	380,000	県教育庁調べ
② 障害者を対象とした講座や障害者の参加に配慮した講座を実施した市町村数（累積）	市町村	15	15	17	19	21	23	県教育庁調べ
③ 県立・市町村立図書館等の個人貸出冊数	千冊	2,733	2,567	2,780	2,820	2,860	2,900	県教育庁調べ
④ 国・県指定等文化財の件数	件	770	785	785	788	791	794	県教育庁調べ